

7. 中央公民館本館（坂部・卯之山）

（１）概要

7月16日（木）

町側出席者 13名

地区側出席者 28名

（２）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

（３）要望・提言など

①：卯坂、丸ノ内、城山地区の市街化と土地区画整理の実施について。【坂部】

答：町全体において未利用地といえる土地区画整理事業の予定地は3カ所ある。その辺の整理も必要かと思うが、いずれにしてもこの地域は第4次総合計画の土地利用構想では住居系の整備地域としているため、引き続き第5次総合計画の中でも調査検討していきたいと考えている。

②：住民健康診査について、特定健康診査、従来の住民健診を社会保険加入者にも受診可能にしていきたい。また、乳がん検診の対象年齢を40歳以下に引き下げていただきたい。【坂部】

答：社会保険の加入者に対する実施については、法律の定めるところにより基本的には実施は困難と考えている。次に、乳がん検診の実施は厚生労働省の指針の中に40歳以上とされていること、予算等の関係もあるが、若い年齢層にあったエコー検査という方法も含め第5次総合計画の期間内に検討していきたいと思う。

関連質問：阿久比町では特定健康診査を広域の医療機関に委託している。そこへ加入すれば社会保険でも受診可能である。東浦町では社会保険で受診券をつくり、その受診券を利用して受診できるようになっている。阿久比町でも医療機関と契約をすれば社会保険の加入者も受けられるはず。社会保険の企業が費用を負担することで可能になると思う。なぜ実施しないのか。

答：東浦町は個別健診といい、東浦町と医療機関で契約しているというケースもある。阿久比町の場合は、集団健診という形で、保健センターで日程を決めて実施している。社会保険の人も、おそらく医療機関との契約に基づき、そのような形でやっていると思われる。逆に社会保険のほうで、医療機関に行き、受診券を提出して受診できるのではないかと考えている。

関連質問：従来の町による住民検査を受けたい人もいると思うが。

答：社会保険の保険者が阿久比町に対し、個人ではなく保険者が阿久比町に対して委託という手続をとれば可能になってくると思う。個人の立場ではなく、義務づけられている保険者同士の流れなので、社会保険であれば社会保険事務所が阿久比町に対して被保険者からの住民健診の希望を聞くという形と思われる。

関連質問：それとは違う説明を東芝健康保険組合で受けた。町に依頼するようにと聞いた。

答：こちらでは理解できない。東芝健康保険組合に確認する。東芝健康保険組合から阿久比町へ委託があれば検討をするが現実的には保険者の義務なのでできない。

③：通学路の安全確保について。小学生の通学路の安全確保のために通学路表示の色分け、横断歩道の識別表示等の改善をしていただきたい。また、知原岬キャッスルハイツと桜屋間に横断歩道マークをつくってほしい。【坂部】

答：桜屋と知原岬キャッスルハイツの横断歩道マークは、従来の足跡マーク等であれば防災交通課と各学校単位、PTA関係、団体等で検討したいと思う。横断歩道の識別マークとはどのようなものか聞きたい。

関連質問：キャッスルハイツと桜屋間に横断歩道がないため整備してほしい。警察と協議して整備してほしい。北側には歩道がない。

答：北側には歩道がなく、桜屋側に歩道があるということと、信号の距離が近いということがある。横断歩道は公安委員会の管轄なので要望はしていきたいと思うが、基本的に近距離、待避場所がないと横断歩道の整備は難しい。

関連質問：北側に歩道を整備できればと思う。

答：南側は区画整理事業で若干の歩道ができるが、用地の確保等が非常に難しいと思う。駅にも歩道を整備することになっている。

関連質問：駅も両側に歩道を整備すれば横断歩道をつくらなくてもよいのでは。

答：両側に歩道を整備する用地がないため、店舗がある南側だけ歩道整備する。

関連質問：キャッスルハイツの方面の人は県道の横断歩道まで戻らなければならない。

答：戻って横断してほしい。

関連質問：普通の状況では守らないと考えられる。それでは無理な横断をしてしまうので危険ではないか。

答：状況を説明し、公安委員会に要望を提出する。

関連質問：通学路の横断歩道の識別表示について、通学路であるという表示を強調させるようにしてほしい。

答：路側帯、2車線道路の歩道のない路側帯にグリーンや赤で線を引くという方法を検討している。昨年は河川堤防で50m程度、グリーンで線を引いた。今後検討していきたい。

関連質問：焼山地区の団地には横断歩道がない。公安委員会は横断歩道整備できないということだったが知恵を絞れば可能だと思うので要望しておきたい。

答：要望しておきます。

- ④：公園施設の整備、拡充について。公園が少なく、遊具も安全性の確保のため撤去されてきている。子どもたちに楽しい遊び場を確保していただきたい。焼山公園の整備、充実に希望する。【坂部】

答：現在、町の都市計画で管理する公園数は町全体で 30 カ所あり、地元の協力を得ながら公園の管理に努めている。公園の設置は、用地の確保、位置等の問題があり、難しい問題である。新しく公園をつくる場合は地元の協力をお願いしなければならない。焼山公園の設備の整備と充実に、現在ブランコ、すべり台、鉄棒、砂場等があるが、それ以外の要望も実現したい。狭い公園なので今後検討していきたいと考えている。

関連質問：以前、城山公園の遊具が安全性を考え撤去された。【坂部】

答：城山公園は町の管理ではなく児童遊園なのでほぼ地元管理と思われる。

関連質問：城山公園は地元で全く管理できていない。遠方の北側の公園で遊ばせるには親も保護できず非常に危ない。南側には以前、ジャングルジム等の遊具があったが撤去された。子どもが遊ぶことができる公園がないので、城山公園を 39 ヶ所目の指定公園にしてほしい。住職と話をしてもらい、ぜひ進めていただきたい。【坂部】

答：現在の状況では、町の公園として指定できない。

関連質問：子どもの遊び場として焼山公園をきれいにしてほしい。【坂部】

答：町で公園を管理するのは困難なため、通常の維持管理を地元をお願いしている。遊具に関する安全点検は、これは 1 カ月から 2 カ月おきに点検はやっている。また現地を確認しながら検討する。

- ⑤：環境美化活動の実施状況について。坂部駅西公園などのごみの散らかしが多く見られます。定期的に清掃されているが、不十分のようです。駐輪場の見回りとの連携はどうか。【坂部】

答：坂部駅西の公園ということで、ごみの清掃は月に 2 回ほど、それから自転車等の監視役と駐車場内の整理を週 2 回、これは 7 時から 8 時半という形でシルバーに委託をして行っている。委託時間内であれば合わせてやっていく。

- ⑥：資源ごみの空き缶盗難に何かよい対策はないか。【坂部】

答：空き缶盗難への具体的な対策というのはないのが現状である。それぞれ地区の実情に応じて対策をしてほしい。

- ⑦：病後児保育で働くお母さん支援のお願いです。核家族化により子供を保育園にあずけて正社員として働く両親が増えてきており、年少児は病気にかかることが多く休暇がとりにくい状況にあり回復期に病後児保育で支援していただきたい。【坂部】

答：病後児保育を実施する場合は、医療機関との連携が不可欠である。現段階では困難だが、総合計画の中でどのようにとらえていくか検討していきたいと思っている。

⑧：危険表示板の見直しについて。焼山池の立ち入り禁止表示をわかりやすくしていただきたい。【坂部】

答：基本的には地元でお願いしたい。町にあるものは提供します。

⑨：丸ノ内等市街化計画について。丸ノ内、二反田、城山地区、県道東側から名鉄線路西側の市街化区域への編入をお願いします。【卯之山】

答：地権者の同意のもと調整していく。

⑩：卯之山児童公園のトイレ水洗化について。現在はくみ取り式なので臭い。また、衛生上よくないので、早期に浄化槽方式の水洗トイレにしていいただきたい。【卯之山】

答：トイレのない公園もあるのであわせて検討する。また、卯之山児童公園については市外化調整区域にあるので、市街化区域の下水道が整備完了した後に整備方法を検討していく。

関連質問：卯之山児童公園の利用者が多い。少年野球もよく利用しているので水洗化をお願いしたい。下水道整備までではなく小さいものでいいので浄化槽で早期検討願いたい。

答：トイレのない公園もあるのであわせて検討する。公園規模にあった整備をしなければならない。

⑪：市街化区域に隣接した調整区域の下水道使用可能化の検討をお願いします。【卯之山】

答：平成 22 年度で市街化区域の整備が終了するので、市街化区域の隣接地、全体をどうするか検討委員会で検討する。

関連質問：知多市では隣接区域で下水道が利用可能だが。

答：他市町の状況を見ながら検討していきたいと思う。

⑫：林谷、八神等の市街化計画について、当地区の継続をお願いいたします。【卯之山】

答：場所としてはインターの東で道路の条件もよいので、第 5 次総合計画の中で検討させていただきたいと思う。

⑬：名古屋半田線の拡幅はいつまでやっているのか。

答：代替地が見つかればすぐに着手できる。県も推進しており、交差点の改良もしている。

⑭：農免道路を舗装して通学路として指定できないか。

答：通学路は教育委員会とともに検討していく。

⑮：植大にごんぎつねのところから一の草にかけて、バイパスがいつまでたってもこれが進捗していないが。

答：環状線は名鉄、堤防、県道との関連があるので整備が難しい。県へ早期事業化を要望している。

⑯：グラウンドについて、スポーツ少年団に入っているのに優先されないというのはどうなのかと思ひまして、何か優先的にとれる方法はないか。

答：利用枠を午前、午後という単位から2時間づつに変更するなど予約の枠を考える必要を感じる。

⑰：坂部橋の道路は右折禁止なのに右折する車が多いので対策を

答：現地を見て対応を考える。

⑱：マスタープランに平成32年人口28,100人とあるが、10年間で3,000人増やす根拠は。

答：名鉄の板山・宮津で900戸の開発を見込んでおり、1戸あたり家族が3人として2,700人～3,000人の増加が見込まれる。また、卯之山、白沢の開発もある。なお、団塊の世代が高齢者となるので、人口の年齢構成が問題になるといったことを踏まえて第5次総合計画を策定していく。